

# 日胆支部企画講習会

道士会では以下のとおり、日胆支部企画講習会を開催しますので、テーマを確認のうえ、参加申し込みをお願いします。ぜひたくさんの方の参加を期待します。

尚、参加当日は、「生涯教育手帳」を必ずご持参ください。

開催日：平成22年9月4日（土）14：00～17：00（受付13：30～）

※開催日が7月31日(土)より変更となりました。

## ★テーマ★

### 「生活に満ちる作業」 ー彩りを添えてー

作業療法は障害者や高齢者の生活を支えるための手段とされているが、現状は本当にそのような役割を担えているのだろうか。生活を支えるということは、生活そのものを理解しないと不可能だが、私たちはどこまで対象者の、あるいは自分のそれを知っているだろうか。

ここでは、生活適応期における作業療法のあり方として、まず人の生活の中に織り込まれている作業について理解し、作業が生活に不可欠であることを確認する。次に在宅支援サービスの中での作業療法の展開について事例を元に考察し、どのような環境でも作業を提供することが可能かつ必要であり、それが作業療法士の役割の大きな一つであるとの結論を導く。

## ★内 容★

### 第一部 人の生活と作業

- ・リハビリテーションの目標として「自宅退院・退所しての生活」を掲げるには、人が普段どのような生活をしているかの理解が必要である。
- ・どのような目標をもって生活しているかという発達課題は、当然年齢によって差があるが、今回は高齢者の生活と発達課題について理解を深める。
- ・そうした発達課題が、障害や病気があっても達成されていくために考えなければならないこと、支援していく点について検討する。

### 第二部 老健等での作業療法実践例

- ・浜松市 介護老人保健施設 すずかけの街  
病院から転換した老健で、施設が狭隘で縦の移動が多く、スタッフ配置から十分な活動ができなかったが、院内デイの発想を取り入れることで空間・時間の問題に対処した。
- ・秋田市 認知症高齢者グループホーム他 えがお  
株式会社によるグループホームの開設で、OT を入れる余裕がなかったが、他のスタッフの教育を充実することで間接的に OT の考え方を取り入れるようになった。生活の中で作業の重要性をよく認識しており、スタッフの発想も豊かになった。
- ・その他

★講師★

千葉県立保健医療大学健康科学部

リハビリテーション学科作業療法学専攻 吉川 法生

会場：障害者福祉総合センター（総称：ぴあ216）

室蘭市東町2丁目1番6号（JR東室蘭駅より徒歩10分、道南バス「東町2丁目」バス停から徒歩5分）

参加費 2,000円となります。

申し込み 参加を希望される方はE-mailまたは道士会ホームページにて下記要領で、事前に申し込み下さい。

E-mail： Subject（件名）に「日胆支部講習会申し込み」と記し、本文に「OT協会番号、免許取得後年数（〇〇年目）、氏名（ふりがな）、所属」を必ず記載して下さい。

アドレス<koushu@haot.jp>

ホームページ：講習会案内より必ず上記内容を記載して申し込み下さい。

URL<http://haot.jp/>

締め切り 8月29日（日曜日）必着

<問い合わせ先> グループホームねねむ 立花奈々

TEL：0142-22-0616

FAX：0142-21-6666